

# 一般会計決算における要望指摘事項

各常任委員会で審査された決算のうち、一般会計については審査の結果が要望指摘事項を付して報告されました。本会議で採決した結果、原案のとおり認定しました。

## 要望指摘事項

### ■ 総務経済委員会

- 1 省電力化に向け、市内の防犯灯や街灯等については、LED化の推進を図り、太陽光パネル型等の導入を検討されたい。
- 2 学校の統廃合等に伴う災害時の避難場所のあり方と投票所の変更については、早期の段階から検討を始め、万全な対応を図られたい。
- 3 狭山市の魅力ある観光スポットやイベントを、市内外に向けてより積極的なPRに努められたい。
- 4 企業立地奨励金については、より有効的な活用策を図り、地元企業の育成に向けた新たな支援策を検討されたい。

### ■ 文教厚生委員会

- 5 民生委員の欠員解消に向け、補充の方法について検討されたい。
- 6 生活保護業務に携わるケースワーカーについては、国の標準に見合うように、増員に向け取り組まれたい。
- 7 サピオ稲荷山の修繕料にかかる市と指定管

理者の負担区分は金額だけで決めているが、判断基準を再検討するように努められたい。  
8 PTA会費とクラブ活動費について、就学援助費の支給対象となるよう検討されたい。

### ■ 建設環境委員会

- 9 自然エネルギー活用促進については、補助制度の拡充をされたい。
- 10 生ごみ・資源回収等、リサイクルの推進について、市民意識の高揚を図り、市民が協力して取り組む活動を推進するよう、検討されたい。
- 11 一般道路の改良と、通学路などの歩道の整備について、積極的に実施されたい。
- 12 地域防災計画の見直しについて、災害時に現場で活動する所管が研究し、早急に対策ができるよう、検討されたい。

### ■ 共通項目

過去の一般会計決算審査における要望指摘事項のうち、未処理の事項については早急に対処されたい。

## 討論

議案に賛成・反対します



### ◆平成23年度 一般会計歳入歳出決算認定

#### 賛成討論(要旨)

震災復興が最大テーマの年であり、避難者住宅支援の実施、継続を評価する。  
▶実質収支額は黒字で、財政調整基金をはじめ積極的に基金を活用しており、心強い内容であった。財政指標でも、健全性の高さが見られる。▶狭山元気プラザの整備は、元気な狭山を発信する拠点として大いに期待する。▶狭山市駅西口地区の市街地再開発事業の完成で「狭山市の顔」にふさわしいまちが形成された。▶全国学力・学習状況調査を実施し、分析結果を活用した改善を評価する。▶市民との協働のさらなる進展を見据え、市民ニーズを踏まえた第3次総合振興計画後期基本計画の初年度に、順調に成果を挙げたと評価する。▶後期基本計画の各施策を実践するため、持続的・安定的な財政運営を確立してほしい。

#### 反対討論(要旨)

長引く不況の中で市民の暮らしも厳しさを強いられている。市民に最も身近な地方自治体としての役割が重要になる中、貴重な税金の使い方について、以下の点で改善を求める。  
▶市内循環バス・茶の花号の見直しで、利用者が22%減少した。バスの台数を増やし、コースの復活を願う。  
▶狭山市駅西口の駐車場の使用料収入が大幅な黒字となっている。学割をはじめ、市民交流センターの利用者が、駐車場を無料で利用できるようにすること。  
▶生活一時金に代わる新たな貸付制度の創設を求める。  
▶保育所や青い実学園など、常勤対応の非常勤職員を正規雇用にすること。▶待機児解消のため、認可保育所の増設を求める。▶市営住宅の建て替えにあたっては、現存戸数の維持を望む。

## 総務経済委員会

### 市民生活の安全を守る

#### 暴力団排除条例を制定

##### ◆狭山市暴力団排除条例

第7条における市民などに対する支援とは。

▶暴力団員からの不当要求の対処要領の指導や助言、暴力団排除活動を行なう際の指導や助言、市民が自主的に取り組む暴力団排除活動への協力など。

▶中学校への適切な教育では、警察からの指導や事例紹介はあるか。

▶現在、薬物乱用の害を授業に取り入れている。暴力団に対する誤った考えを正すため、適切な教育の必要がある。授業には警察官を講師に招く機会もあるので、事例の紹介も含めた講義になると考える。

◆狭山市消防長の任命資格を定める条例及び狭山市消防本部及び消防署の設置等に関する条例を廃止する等の条例

▶組合設立に向けた今後のスケジュールは。

▶年内は、管理者の選出、職員の昇任・退職、新規職員採用など、1月以降に市長会議、人員配置の調整、組合議員選出と人事異動の内示を予定。

##### ◆平成24年度一般会計補正予算

▶社会資本整備総合交付金について、ゾーン30の整備への交付金は、何年度分を想定しているか。

▶本年度を含め、4年間の予定で県から交付。

▶上奥富塚災害復旧工事費について、前年の工事への支払いと、今後の契約はどうなるのか。

▶国から受けている今回の被災査定の結果を待ち、業者から請求があった場合、一部工事費の支払いをする。工事は一時中止なので、同一業者で変更契約をし、来年3月をめどに当初の計画予定のものを造る。

## 文教厚生委員会

### 市立幼稚園が

#### 現在の5園から2園に統廃台

##### ◆狭山市立学校設置条例の一部を改正する条例

▶廃園予定の3園は、26年度は年長のみとなるが対応策は。

▶極力支障が出ないよう、幼稚園同士の交流や小学校との連携を図り対応する。

▶単学年の解消策として、27年4月に残る2園への転園を条件に、26年度の入園を許可することは。

▶途中での転園は、子どもへの負担が心配。残る2園は市内全域から自動車通園を許可する予定で、転園を条件とした26年度の入園は考えていない。

▶残る2園の児童数確保の見通しは。

▶特別支援教育の充実や預かり保育の実施、改修工事、自動車通園の実施を図り、園児の確保を見込んでいる。

▶預かり保育と自動車通園の周知方法は。

▶預かり保育は、26年10月に配布する募集要項で、自動車通園は、25年10月の募集要項配付の際、周知。自動車通園の駐車場は何台分を用意するのか。各園20台程度は確保する必要がある。

##### ◆平成24年度一般会計補正予算

▶市民後見人の募集方法は。

▶社会福祉協議会の協力者を中心に30人程度を募集する予定である。また、有識者の研修や家庭裁判所の視察などを、11月下旬から計画している。

▶水富公民館は、耐震工事に伴い長期閉館となるが、利用者への対応は。

▶事業運営委員会、利用者懇談会などで説明を行い、9月の広報紙にも掲載し対応した。

## 建設環境委員会

### 平成23年度

#### 水道・下水道事業会計決算を認定!

##### ◆狭山市駅東口土地区画整理事業特別会計補正予算

▶狭山市駅加佐志線の中間部分の進捗状況は。

▶道路にかかる権利者は4名で、隣接地造成などを含めた関係権利者は10名。いまだ反対の意向が示されているが、少しずつではあるが代替案や、条件面の話が出てきているので、交渉を進めている。

##### ◆水道事業会計決算

▶有収率の前年度対比0.3減の分析は。

▶漏水軽減の減免が、有収率の低下に反映した。給水停止の状況は。

▶23年度は947件を停水。年度末時点で停水したままが65件で、882件は停水を解除した。

##### ◆下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について

▶1千万円を減債積立金に積み立てた考え方は。

▶旧法に利益の20分の1以上を減債積立金に積み立てる規定があり、その趣旨から20分の1相当の1千万円を減債積立金に、残りを繰越利益剰余金とした。

##### ◆下水道事業会計決算

▶23年度の年間排水量、年間有収水量が増えている中、有収率が下がっている理由は。

▶22年度決算が、企業会計に移行し打ち切り決算を行ったため、約2カ月分の量が22年度分の使用料として反映されていないため。

##### ◆市道路線の認定



入間川1丁目地内の認定箇所の視察